

# えべつの未来づくりミーティング

～ 江別視覚障害者福祉協会編 ～

令和4年7月19日（火） 江別市総合社会福祉センター  
午前10時10分～午前11時35分

## 1 江別市の「強み」「弱み」は

- ・強みは、四つの大学があって、学生が多いこと。弱みは、少子化で子どもの数が減ってきていること。
- ・強みは、札幌市に近く、便利なこと。弱みは、札幌市に近いために、お金が札幌市に流れてしまうことや、地価が上がってしまっていること。自分の息子も江別市に家を建てようとしたが、高くて諦めて、市外に家を建てた。若い人が家を買おうとしても難しくなっているのではないか。また、「江別市と言えばこれ」というものがない。あらゆる支援も、札幌市にならって、江別市も同じように行うということが多いと思う。
- ・強みは、野幌森林公園もあり環境が良く、住みやすいこと。高齢者施設など福祉関係の施設が多数あることも良いと思う。弱みは、市内に大企業が少なく、就職先が少ないこと。もう少し、若い人が働けるような場所があって、活気があると良いと思う。また、江別市内の農業者が頑張っていて、江別産の農産物が有名になっていることは良いことだと思うが、農業や市内の事業者の後継者が不足していることが弱みだと思う。後継者の確保や育成に向けた支援が必要だと思う。
- ・北海道立野幌総合運動公園があるが、地元で強いスポーツチームがないことが残念。また、障がい者が参加できるスポーツに、もう少し力を入れてほしいと思う。老朽化したスポーツ施設も改修してほしい。



## 2 身近な生活で不便に思うこと

- ・除排雪と道路の舗装。歩行しづらいので、除雪や舗装に力を入れてほしい。自転車の運転マナーが悪いのではないかなと思う。自転車専用道路を整備するなどしてもらえると安心して歩くことができる。バス路線もルートの変更があって、不便になった。江別市総合社会福祉センターに来るにも遠回りしなければならない。
- ・いつも盲導犬と歩いている歩道があるが、そこに、停止ブロックをつけてほしい。停止ブロックさえあれば、自分の足の裏で分かる。停止ブロックがないと、どこで歩道が終わるのかわからず、車道に出てしまうことがある。盲導犬も、かなり手前で停まることもあり、車の音がないと、道路を渡り切ったかどうか判断できないことがある。信号機がない道は、車は停まってくれて、横断するように合図をしてくれているようだが、自分も盲導犬も、その合図が分からない。信号機がないと音で判断することもできない。札幌市などが取り入れている、信号が変わるとスマートフォンが知らせてくれるような仕組みを取り入れてほしい。
- ・市内でも、点字ブロックがしっかりと整備されているところと、整備されていないところがある。点字ブロックがあるところは、健康のためにも歩くようにしているが、交通量が少なく、信号機がない交差点を渡る時、車の音がしないと、判断がつかない時がある。音が鳴らない信号機でも、ボタンを押すと信号の色を教えてくれるものもあるので整備を検討してほしい。また、街路樹が点字ブロックの上に覆いかぶさっているところがあり、歩道を確認できず、危ない場所がある。

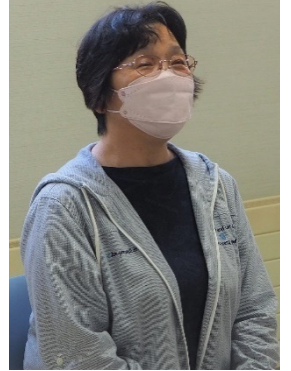




・除雪をしっかりとしてほしい。歩道が雪で埋もれていたり、歩道が細くなっている時は、転んだりする。人に誘導してもらっても、足の裏から得られる情報がなさすぎる。江別市は大好きなので、ずっと住みたいと思っているが、冬になると、除雪のことを考えてしまい、嫌だなと思ってしまう。また、店をやっている人は、歩道に排雪する場合が結構あるように感じる。歩く人のことも考えて、もう少し親切にしてくれたらと思う。

### 3 人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野について

- ・せっかくある北海道立野幌総合運動公園を生かし、スポーツでまちを活性化してはどうだろうか。プロスポーツ選手になりたい子どものために、まずはスポーツチームをつくるなど始めてみてはどうだろうか。
- ・お年寄りが増えているので、お年寄りにも働いてもらうことが必要になると思う。労働だけではなく、生きがいづくりや雰囲気づくりなどで活躍してほしい。また、お年寄りだけでなく、障がい者も子どもも交わって、江別市のためにみんなが何かできること、みんなが一つになれるような社会参加を企画してはどうだろうか。若い親たちは子育てを抱え込んで大変なので、地域で子どもを見守る仕組みなど。また、障がい者が歩いていたら声かけや支援が自然に行われているような、弱者への呼びかけ、声かけが、日常、みんなできていくまちになってほしい。共生社会や障がい者への理解を深める企画がコロナ禍により中止されていることが残念である。みんな閉じこもらず、もっとまちに出るようになれば、孤独死なども防げるのではないだろうか。また、デジタル化が進むことで、どんどん便利になっていくのだと思う。デジタルを活用して、「こういうことができるんだよ」ということを伝えて、「私はできないから無理」という人をなくしていくことが大事だと思う。デジタルが使えずに損をしている人がいる。スマートフォンの操作など、デジタルについて教えてもらえるところがあれば、やろうかなと思う人も増えると思う。



- ・助け合う輪を住民みんなで育てて、広げていってほしい。相手の気持ちになって行動する精神をみんなで持てるようになってほしい。
- ・ボールパークのような、とても大きな企業ではなくても、みんなが働けるような、少し大きめの会社を誘致できたらと思う。
- ・コロナ禍で、視覚障がい者への理解を深める出前講座が中止になっている。参加した子どもたちは盲導犬や白杖のことを学んでくれているが、参加していない子どもたちは知る機会がない。大事な学習機会だと思うので、再開してほしい。
- ・未来は、遠い先だけでなく、明日も「未来」である。いろいろな障がいがあるが、目から入る情報はとても多く、それを失った私たちは、明るく過ごすために、怪我や火傷をしないように、また、病気にならないように、日々、一生懸命、努力をしている。明日も未来であり、まずは今、明日をより良くしていくことが大事であることを忘れないでほしい。

